



市立病院では、 周産期体制の充実をはかっています！

図病院運営管理室 ☎714・0009 FAX728・8232

市立病院は、持続可能で質の高い医療を提供する公立病院として、医療の充実やサービス向上に取り組んでいます。「周産期体制の充実(RSワクチン接種の開始ほか)」「救急体制の強化」「乳腺センター開設」「診療科の充実」の4つの取り組みについて、シリーズで紹介します。

ここが
ポイント

妊娠期から産後までの継続サポートと RSワクチン接種の開始

妊娠中

- **バースプランに沿った個別サポート**
助産師が一人ひとりにバースプランを聞き取り、そのプランに沿ったサポートを実施します。
- **各診療科との連携を強化し合併症や持病に対応**
- **RSウイルスワクチンの接種**

7月から

RSウイルスワクチンの接種を開始しました！

- ◆対象：市立病院で妊婦検診を受診する妊婦(任意)
- ◆費用：3万3000円(税込)
- ◆接種申込：妊娠32週までに産婦人科外来へ

RSウイルスは生後2歳までにほぼ全ての乳児がかかり、かぜ症状や気管支炎、肺炎を起こす病気です。特に生後1歳までの赤ちゃんは、重症化しやすいことが知られています。妊婦さん自身がRSウイルスワクチンを接種することで、生後まもない時期のRSウイルス感染による重症化を防ぐことが期待できます。

小児科診療科部長
長谷川 泰浩さん



詳しくはこちら→



出産時

- **小児科医の立ち合い**
母体の合併症など、赤ちゃんの生命に危険が及ぶ場合は小児科医が立ち会い、産科医と連携して対応します。
- **だっこ指導**
胎内と同じ横向きの姿勢が取れるよう、助産師が丁寧に指導します。
- **お祝いセットプレゼント**
 - ・ミキハウス社製バスタオル
 - ・録音機能付きアルバム
 - ・ナチュラルオイル(馬油)



お祝いセット
※予告なく内容が変わる場合があります。

出産後

- **産後2週間検診、1カ月検診を実施**
- **乳房外来(有料)**
乳房トラブル時のマッサージや、直接授乳量の測定を行うほか、育児相談にも対応します。また、必要に応じて医師が診察を行います。

里帰り出産也大歓迎！

生まれ育った箕面で
安心して出産できます！



産科医一同

これからも身近で頼れる病院をめざして

病院長 岡 義雄さん

市立病院の指定管理開始から7カ月が経ちました。当院はこれまで、大病院に負けない高度医療を実施してきましたが、その姿勢は継続され、9月には胃がん手術にもロボット支援手術を導入しました。職員一人ひとりが現状に留まることなく変化に対応し、新しい取り組みに柔軟にチャレンジする姿勢を持ち続けています。地域のみなさんにとって、必要なときにそばにあり、安心して療養できる頼れる病院をめざして、これからも医療提供体制の充実をはかっていきます。

